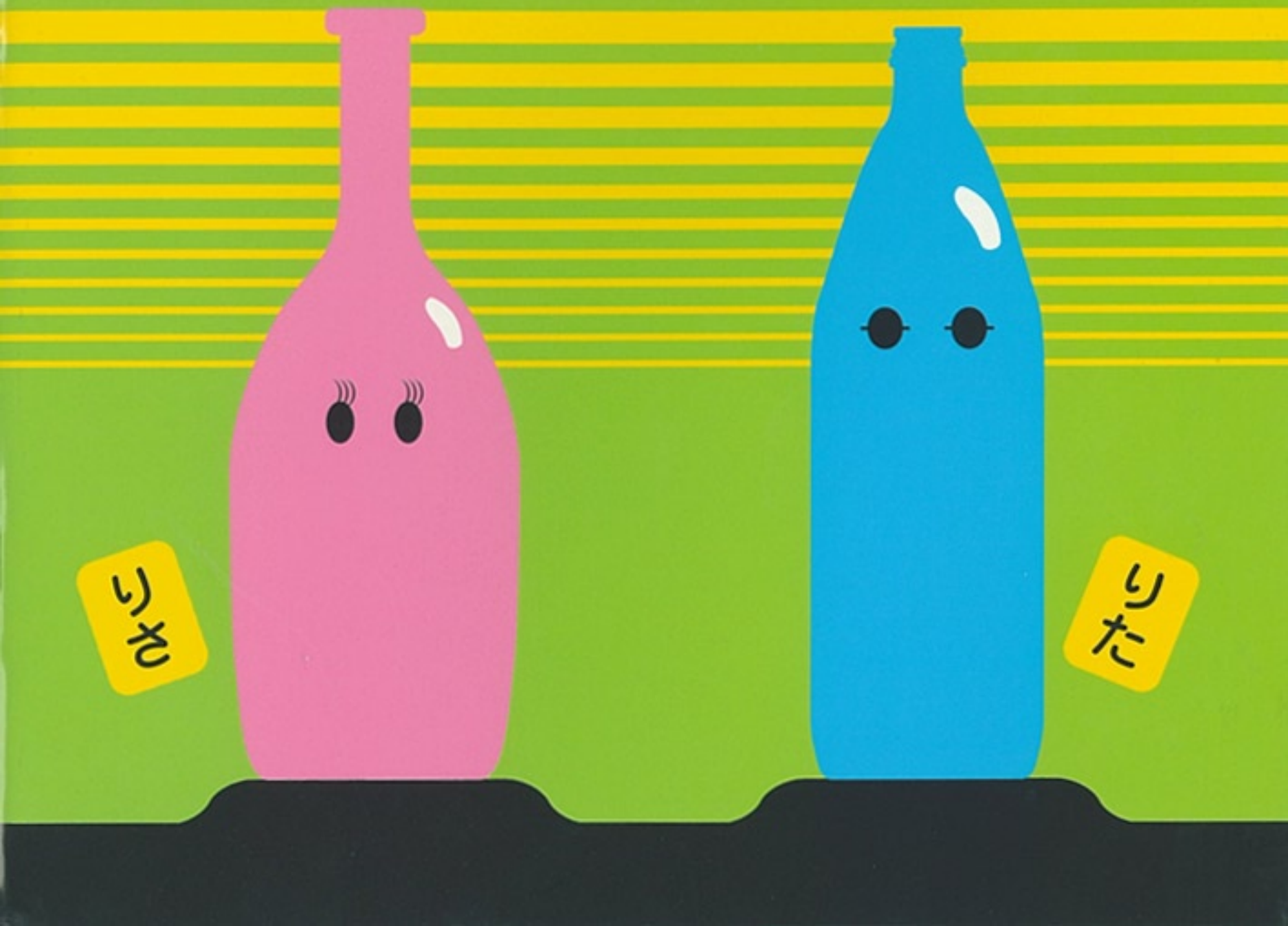
りさとりた



「リターナブルびん」って　しっていますか？
わたしたちが　つかっている　「びん」には
おおきくわけて　２つのしゅるいが　あります
からっぽになってしまったびんを
あなたは　どうしていますか？
このえほんには　「りさ」　と　「りた」　の
２しゅるいの　「びん」が　でてきます
さて　ふたりは　どう　ちがうのかな？

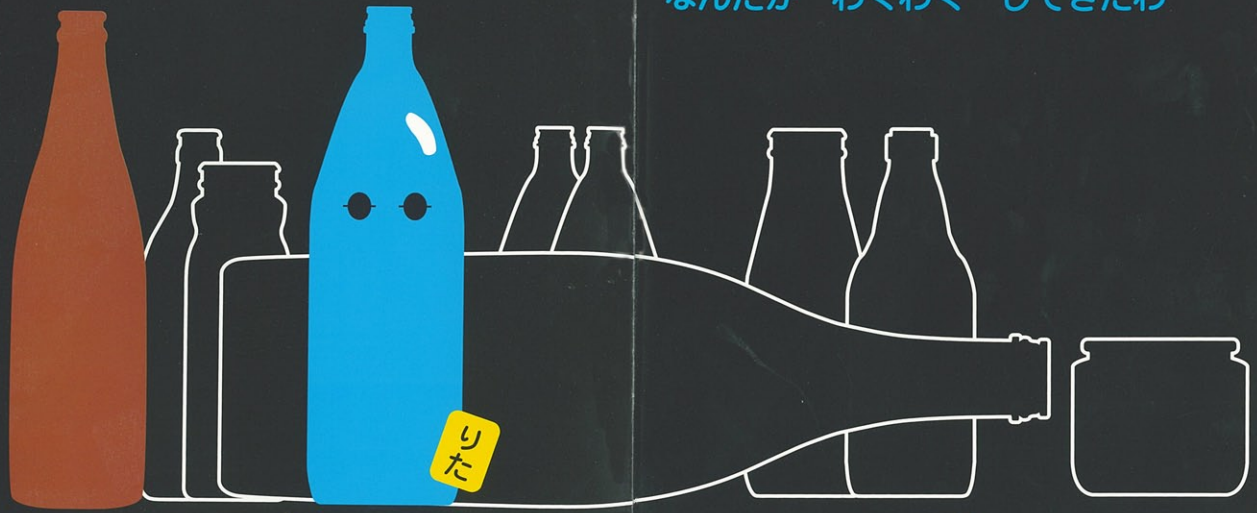
谷川俊太郎 さん　原作
ガラスびんリサイクル推進協議会から出版された
「うまれかわったりさ」という絵本があります
「りさ」も「りた」も　そこに登場します
すぐれた絵本に出会ったことで
この絵本「りさとりた」が生まれました

わたしは　びん　なまえは　「りさ」
なんども　うまれかわって
びんになるのよ
なかみが　なくなっちゃったけれど
へいき！　へいき！

たくさんの　おなじいろの　びんどうし
いろわけされて　わられて

「カレット」という　なまえになって
またびんになるまで　まってるの

わたしは　びん　　なまえは　「りた」
わたしも　なかみが　なくなっちゃった
なんだか　わくわく　してきたわ



ガチャ
ガチャ

わたしを　にこにこえがおの　ひとたちが
ていねいに　わけてくれる

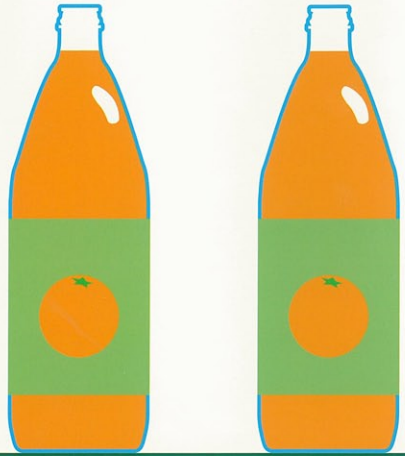
ラベルやふたも　はずしてもらう

おふろに　はいって　シャワーを　あびて
きれいに　なって　ああ　いいきもち！
ピカピカの　わ・た・し…

わたしは　「りさ」　カレットに　なったけれど
あーあ　たいくつだわ
カレットなかまは　どんどん
ふえてくるばっかり…
いつになったら　びんに　なれるのかなぁ？

わたしは　「りた」　わたしの　なかに
おしょうゆが　はいっていたのに
こんどは　ジュースが　はいってる

ラベルも　きがえて　すっかりきれい
わたしは　われるまで　わたしのまんま
なんかいも　いきつづけられる
こんどは　あなたの　ところに　とどくかも？

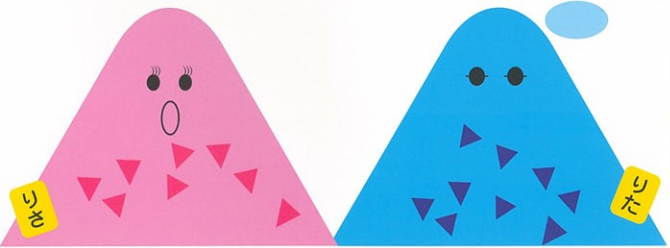


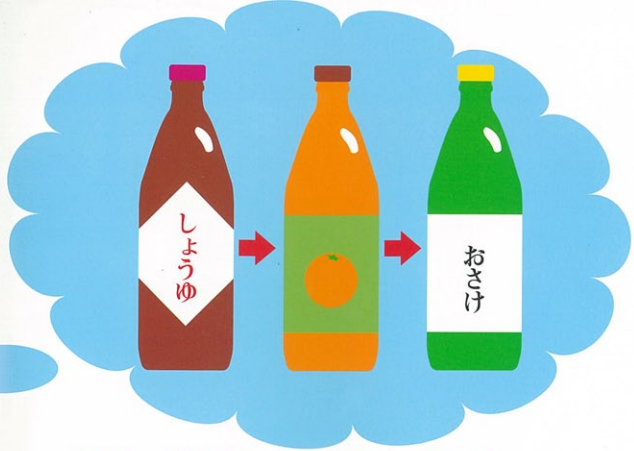
また　からっぽに　なっちゃった！
これから　どこへいくのかな？

おっとっと
まちがえないでね

わたしは　「りた」
なんども　つかって　もらって　とうとう　われちゃったの
だから　「カレット」になったわ

あ！　「りた」！
わたしは　いちど　つかわれただけで
ずーっと　ここにいたのよ
「りた」は　いままで　どうしていたの？



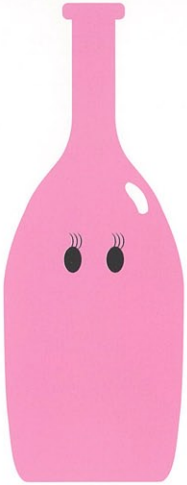


あのね　はじめは　おしょうゆ　それから
ジュース　おさけのときも　あってね…
いろんなひとに　あったわ
いつも　ていねいに　あつかわれて
わたしは　しあわせだった　こんども　また
「リターナブルびん」として　うまれたいわ

いいなー！　わたしも　「りた」に　なりたいなぁ

じゃあ　「りた」の　なかまが
ふえるように　おねがいしましょう

みなさん　まわりの　ひとたちに
「りた」のことを　おしえてあげて
おうえんしてね
わたしたち　「びん」を　たいせつに　してね



「りさ」は　リサイクルびん
こわして　あたらしく　つくりかえる

「りた」は　リターナブルびん
あらって　なかみを　いれかえる

地球環境の危機が叫ばれて久しく　あちこちで様々な取り組みが
なされるようになりました　その成果でしょうか？
「リサイクル」という意識が多くの人々に広まり
定着してきたように思われます　でもちょっと待ってください
「リサイクル」さえすれば　それでいいのでしょうか？

「３Ｒ」という言葉を聞いたことがありますか？
リデュース、リユース、リサイクル（＊注）
の順で優先される　つまり　リデュース、リユースも
できない時　仕方なくするのが「リサイクル」であり
そしてそれも無理ならそこで初めて「捨てる」という考え方です

この絵本では　「びん」を主人公にして「リサイクル」よりも優れた
「リユース」という方法について　紹介しています
容器の中でも　びんは　長年使われてきて
食品の保存容器として　最も適していて安全なものです

しかしそのびんも資源ゴミとしてリサイクルだけしていては
環境にかかる負担は　決して小さくありません
リユース（リターナブル）びんは　人にも環境にも
最も負担をかけない容器として　今　注目を集めつつあります
他の容器は　リサイクルのための収集処理費用を
税金でまかなっているという問題点もあります

たとえばビールなら空き缶をリサイクルすれば　それでいいのではなく
ビールびんを　リユースするほうが　ずっといいのだということを
多くの人に知っていただきたいと思います
出版にあたっては　教育的内容だけではなく
「おはなし」として愛されるような絵本作りを心がけました
“失われつつある大切なものを　取り戻す第一歩”
であることを　広く伝えたい思いでいっぱいです

©Rびんプロジェクト

（＊注）　リデュース、リユース、リサイクル
Reduce(減量) Reuse(再使用) Recycle(再利用)

©

Rびんプロジェクト

発行日　2001年10月10日
発行元　Rびんプロジェクト　事務局(中村)
〒578-0976 大阪府東大阪市西鴻池町1−4−20
TEL＆FAX 06−6746−0843（AM9:00〜PM5:00）
e-mail r-bin77@hotmail.com
編集製作　(株)リトル・ガリヴァー社
〒543-0072 大阪市天王寺区生玉前町4−19柳田ビル501
TEL06−6775−9721 FAX06−6775−9757
http://www2.odn.ne.jp/~cba27930
e-mail cba27930@pop06.odn.ne.jp
非売品
Printed in Japan 2001
copywrite by R-bin project.